



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 ロート製薬株式会社 上場取引所 東
コード番号 4527 URL <https://www.rohto.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 雅史
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 CFO (氏名) 斉藤 雅也 (TEL) 06-6758-8223
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	201,163	14.1	35,262	23.3	37,247	26.1	26,157	20.9
2023年3月期第3四半期	176,263	22.4	28,598	22.5	29,540	25.5	21,637	26.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 36,479百万円(4.5%) 2023年3月期第3四半期 34,918百万円(74.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	114.66	114.33
2023年3月期第3四半期	94.84	94.57

(注) 2023年1月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	342,160	246,012	70.0
2023年3月期	309,677	215,078	67.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 239,655百万円 2023年3月期 209,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	12.00	—
2024年3月期	—	12.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	15.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年1月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の第2四半期末は分割前、2023年3月期の期末は分割後の金額を記載しております。年間配当金については株式分割の実施により単純合計出来ないため表示しておりません。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	272,000	14.0	40,000	17.8	41,500	16.7	30,000	13.7	131.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期3Q	236,178,310株	2023年3月期	236,178,310株
2024年3月期3Q	8,039,461株	2023年3月期	8,039,356株
2024年3月期3Q	228,138,911株	2023年3月期3Q	228,139,461株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 2023年1月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限の解除により経済活動の正常化が一段と進むなか、海外からの渡航者が増加したこともあり回復基調となりました。一方、円安や海外経済の減速懸念、長期化するウクライナ情勢を背景とした資源・資材価格の高騰が続き、景気の先行きは依然として不透明な状況が継続しております。個人消費につきましては、行動制限の緩和から消費の回復は見られたものの、物価上昇に賃金の伸びが追いつかない実質賃金のマイナスが続いており、節約志向は一段と高まりをみせております。

このような状況のもと、当社グループは世界の人々が身体も心もイキイキと様々なライフステージにおいて笑顔あふれる幸せな毎日を過ごせるよう「Connect for Well-being」のスローガンを掲げ、さらなる企業価値の向上を目指し「総合経営ビジョン2030」の実現に向けて取り組んでおります。

その結果、売上高は2,011億6千3百万円（前年同期比14.1%増）と大幅な増収となりました。国内におきましては、お客様のニーズに合った商品提案やインバウンド需要の回復により増収となりました。海外におきましても、お客様のニーズに合った商品提案に加えて円安の影響もあり増収となりました。

利益面につきましても、大幅な増収となったことに加え、原価率の改善や販売費及び一般管理費の効率的活用に努めた結果、営業利益は352億6千2百万円（同23.3%増）、経常利益は372億4千7百万円（同26.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、261億5千7百万円（同20.9%増）と全ての利益段階で大幅な増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(日本)

外部顧客への売上高は、1,180億7千8百万円（前年同期比17.1%増）と大幅な増収となりました。

酵素洗顔が好調の「メラノCC」や「肌ラボ」、サプリメントの「ロートV5」が引き続き好調に推移いたしました。マスク着用習慣により伸び悩んでいたリップクリームも回復傾向に転じています。国内需要に加え、インバウンド需要も増加しております。また、国内グループ会社におきましても、「ボラギノール®」を主力商品とする天藤製薬㈱も増収に寄与しました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、大幅な増収と原価率の改善に加え、販管費の効率的な活用により、216億6千万円（同25.6%増）と大幅な増益となりました。

(アメリカ)

外部顧客への売上高は、136億9千9百万円（前年同期比10.0%増）と大幅な増収となりました。

医療用消毒薬等を製造・販売するハイドロックス・ラボラトリーズ社が引き続き好調に推移し、増収に大きく貢献しました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、大幅な増収と原価率の改善に加え、販管費の効率的な活用により、9億6千4百万円（同194.6%増）と大幅な増益となりました。

(ヨーロッパ)

外部顧客への売上高は、105億2千8百万円（前年同期比11.5%増）と大幅な増収となりました。

主力の消炎鎮痛剤が引き続き好調に推移し増収に寄与しました。「Hadalabo Tokyo」は英国、東欧及び中東主要国で好調に推移しました。また、2021年5月にCEマークを取得し発売したドライアイ点眼剤である「ロート ドライエイド」により、目薬市場の開拓を引き続き進めており好調に推移しています。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、大幅な増収と原価率の改善により、10億4千2百万円（同38.1%増）と大幅な増益となりました。

(アジア)

外部顧客への売上高は、567億4千8百万円（前年同期比9.7%増）と増収となりました。

中国が経済環境の悪化の影響を受けたものの、香港、インドネシア、台湾が高成長を継続しました。商品別では日やけ止め、目薬、「肌ラボ」、フケ抑制シャンプー「セルサン」等が増収に寄与いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、増収効果により、108億3千9百万円（同9.9%増）と増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は3,421億6千万円となり、前連結会計年度末より324億8千2百万円増加いたしました。これは、受取手形及び売掛金が99億3千6百万円、投資有価証券が75億7千8百万円、商品及び製品が52億3千6百万円、それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債総額は961億4千7百万円となり、前連結会計年度末より15億4千8百万円増加いたしました。これは、支払手形及び買掛金が22億8千1百万円、電子記録債務が14億1千5百万円、それぞれ増加した一方、長期借入金が22億4千3百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては2,460億1千2百万円となり、前連結会計年度末より309億3千3百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が206億1千4百万円、為替換算調整勘定が83億4千1百万円、それぞれ増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

[2024年3月期 通期の連結業績予想]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	270,000	38,500	40,000	29,000	127.12
今回修正予想(B)	272,000	40,000	41,500	30,000	131.50
増減額(B-A)	2,000	1,500	1,500	1,000	—
増減率(%)	0.7	3.9	3.8	3.4	—

連結業績予想につきましては、当第3四半期の日本セグメントが想定を上回り好調に推移した事と、海外に關しましては為替の影響も加味したため、2023年11月10日に公表した連結業績予想を修正いたします。売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益全てが前回発表を上回り増収増益となり、過去最高を更新する見込みです。なお、為替レートは1ドル142円、1中国元19.82円を想定し修正しております。

※上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	79,951	81,877
受取手形及び売掛金	39,686	49,622
電子記録債権	21,327	23,747
商品及び製品	22,451	27,687
仕掛品	3,407	3,727
原材料及び貯蔵品	15,204	17,082
その他	8,575	10,817
貸倒引当金	△357	△365
流動資産合計	190,246	214,196
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,626	30,184
その他（純額）	36,555	38,208
有形固定資産合計	66,182	68,392
無形固定資産		
のれん	2,564	2,276
その他	6,996	6,851
無形固定資産合計	9,561	9,127
投資その他の資産		
投資有価証券	33,637	41,215
その他	17,182	16,188
貸倒引当金	△7,132	△6,960
投資その他の資産合計	43,687	50,443
固定資産合計	119,431	127,963
資産合計	309,677	342,160

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,025	18,306
電子記録債務	2,693	4,109
短期借入金	4,177	4,359
未払費用	20,777	21,018
未払法人税等	5,048	5,784
賞与引当金	3,535	1,731
役員賞与引当金	50	37
その他	27,854	28,286
流動負債合計	80,162	83,633
固定負債		
長期借入金	7,516	5,273
退職給付に係る負債	3,104	3,256
債務保証損失引当金	42	32
その他	3,773	3,952
固定負債合計	14,436	12,514
負債合計	94,599	96,147
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,504	6,504
資本剰余金	5,292	5,292
利益剰余金	184,005	204,620
自己株式	△4,938	△4,938
株主資本合計	190,864	211,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,951	9,471
為替換算調整勘定	10,649	18,990
退職給付に係る調整累計額	△277	△284
その他の包括利益累計額合計	18,323	28,177
新株予約権	382	382
非支配株主持分	5,508	5,973
純資産合計	215,078	246,012
負債純資産合計	309,677	342,160

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	176,263	201,163
売上原価	74,828	83,743
売上総利益	101,435	117,419
販売費及び一般管理費	72,837	82,156
営業利益	28,598	35,262
営業外収益		
受取利息	643	1,095
受取配当金	451	470
持分法による投資利益	19	69
その他	1,503	1,058
営業外収益合計	2,619	2,694
営業外費用		
支払利息	194	180
投資事業組合運用損	-	165
寄付金	1,000	-
その他	482	363
営業外費用合計	1,677	710
経常利益	29,540	37,247
特別利益		
持分変動利益	125	-
投資有価証券売却益	15	-
国庫補助金	-	230
特別利益合計	140	230
特別損失		
固定資産除却損	153	-
固定資産圧縮損	-	230
投資有価証券評価損	-	676
特別損失合計	153	906
税金等調整前四半期純利益	29,527	36,570
法人税等	7,692	10,039
四半期純利益	21,835	26,530
非支配株主に帰属する四半期純利益	197	372
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,637	26,157

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	21,835	26,530
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	996	1,538
為替換算調整勘定	11,882	8,416
退職給付に係る調整額	202	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	1	1
その他の包括利益合計	13,082	9,948
四半期包括利益	34,918	36,479
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,553	36,012
非支配株主に係る四半期包括利益	364	467

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高 顧客との契約か ら生じる収益	100,820	12,459	9,438	51,740	174,459	1,803	176,263	—	176,263
(1) 外部顧客への 売上高	100,820	12,459	9,438	51,740	174,459	1,803	176,263	—	176,263
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	2,850	1,063	14	2,762	6,690	42	6,732	△6,732	—
計	103,671	13,523	9,452	54,503	181,150	1,846	182,996	△6,732	176,263
セグメント利益	17,241	327	755	9,865	28,188	188	28,377	221	28,598

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、ブラジル等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカ等の現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益の調整額221百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高 顧客との契約から生じる収益	118,078	13,699	10,528	56,748	199,055	2,107	201,163	—	201,163
(1) 外部顧客への売上高	118,078	13,699	10,528	56,748	199,055	2,107	201,163	—	201,163
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,417	1,253	106	3,461	7,239	37	7,277	△7,277	—
計	120,495	14,953	10,634	60,210	206,294	2,145	208,440	△7,277	201,163
セグメント利益	21,660	964	1,042	10,839	34,507	200	34,708	554	35,262

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、ブラジル等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカ等の現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益の調整額554百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。